

にしさいたまちゅうおう



Vol. 19 (第19号)

発行：独立行政法人国立病院機構
西埼玉中央病院
発行日：平成20年7月
発行責任者：竿代丈夫

〒359-1151 埼玉県所沢市若狭2-1671 TEL 04(2948)1111 / FAX 04(2948)1121 <http://www.hosp.go.jp/~wsaitama/>



「初夏のメルヘン」 撮影者：秋山峻太郎(ボランティア) 「兵どもの夢の跡」にメルヘンが生まれた。このすばらしさに乾杯!(所沢市北野 小手指ヶ原のお花畑で)

■小手指ヶ原古戦場メモ ■小手指ヶ原は所沢市北野にあり、現在は茶畑等が広がるのどかなものとなっていますが、元弘3年(1333)に時の鎌倉幕府の執権北條高時の討伐を目指す新田義貞軍と鎌倉幕府軍が最初に衝突した古戦場です。(文責 砂川 務 (ボランティア))

CONTENTS

■医療よもやま話	
「人工ひざ関節のおはなし」	2
■「よろしくお祈いします！」 ～新任医師紹介～	4
■中国大地震を体験して	4
■医療連携登録施設だより 小室内科消化器科クリニック	6
■糖尿病患者さんへの、新しい教育入院について	7
■病院のどうぶつ	7
■ボランティア表彰式	8
■インフォメーション ～ボランティア募集～	8
■ご案内 (案内図)	8

基本理念

“病む人に心の通^{かよ}う 質の高い医療をめざします”

お手持ちの携帯電話でも当院の診療情報の一部がご覧いただけます。





鈴木医長（右）北里医師（中）橋本医師（左）

膝（ひざ）関節は、大腿骨（太もも）、脛骨（すね）、膝蓋骨（お皿）からなる人体最大の関節で、各々の表面には軟骨というクッション成分、さらに大腿・脛骨間には半月板と呼ばれるクッション材がはさまっています。変形性膝関節症が進行すると、内側の軟骨や半月板がすり減ってO脚となり、骨どうしがこすれ合って歩行時に強い痛みをきたすようになります。初期のうち、ヒアルロン酸の関節内注射、太ももの筋力強化訓練、減量、装具療法など手術をしない保存療法で十分治療できますが、変形が進み保存療法を長期間試しても痛みが取れない場合には手術療法を検討します。

手術療法は、変形の程度に応じて内視鏡手術や脛骨骨切り術などが行われますが、変形の強い末期関節症では人工膝関節手術が適応となります。人工関節というと精密機械やロボットを連想されるかもしれませんが、実際に用いられているものの多くは表面置換型と呼ばれる、関節表面の傷んだ部分を削り取って金属を被せるタイプです（次

ページの図参照）。自分の関節包や周囲の靭帯、筋肉を生かしながら、表面だけを金属に置き換え、金属と金属の間には人工のクッション材を挟みます。手術後、O脚はまっすぐに矯正され、関節は自分の筋力で滑らかに動いて痛みなく歩けるようになります。

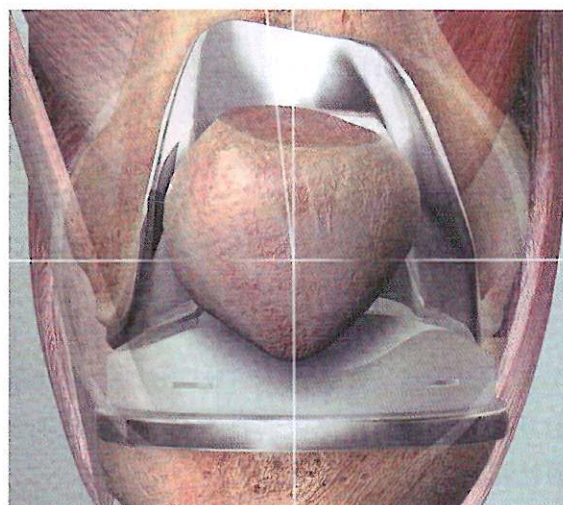
人工関節は近年、デザインや材質の変革、技術の進歩により動きや耐久性が大きく向上し、また手術手技や用いる器械の進化に伴って、より小さな切開での手術が可能になってきました。変形の程度によっては片側だけに金属を被せる「部分置換術」で済む場合もあります。いずれの方法もリハビリテーションとして手術翌日から曲げ伸ばしの訓練、歩行訓練を始めるため、3～4週間の入院で日常生活に戻ることが可能です。

このように、頑固な膝痛やO脚でお悩みの方にとって最適な治療法ですが、感染に弱いため糖尿病など免疫力が低下する病気や重度の歯周炎虫歯などがある方は事前に十分な治療を受けておく必



▲無菌「宇宙服」を着用した当院での手術風景

関節症に対する「最終手段」であり、当院では、保存療法、内視鏡手術などの施行例も多く、病状に応じて豊富な治療オプションを用意しています。治療方針はX線上の変形の程度だけで決定できるものではなく、専門医によるトータルな診察が大切です。他院で手術を勧められ迷われている方も一度当科までお気軽にご相談下さい。



▲人工膝関節置換術のイメージ
(人工関節の前面にある丸い「皿」は膝蓋骨)

要があります。

また、人間の膝関節と同様、寿命があり、10年持つ確率が95%、20年持つ確率が80%とされています。負担をかけすぎない、太りすぎない、骨を丈夫に保つなどの注意が必要です。

当院は、年間95件（2007年度）の関節形成術（人工関節、人工骨頭手術）を行っており、埼玉県西部地区でも有数の関節外科病院の一つとなりました。貯血式・回収式併用自己血輸血による他家血輸血回避策、無菌防護服システム（写真）による術中感染対策、各種静脈血栓症対策を徹底して講ずるなど、常に安全性の高い手術を心がけています。今回ご紹介した人工関節手術はあくまで末期



▲実際に用いられている人工膝関節の1例
(上下はコバルトクロム合金製、中央が超高分子量ポリエチレン製)

よろしくお願ひします！

～新任医師紹介～



泌尿器科医長

きむら ふみひろ
木村 文宏

平成20年7月1日から当院泌尿器科に勤務しています。

1983年に防衛医科大学を卒業し、防衛医科大学校病院、自衛隊札幌病院、自衛隊中央病院（兼国家公務員共済組合連合会三宿病院）等を経て2008年6月まで防衛医科大学校泌尿器科で勤務しておりました。日本泌尿器科学会専門医、同指導医、日本透析医学会認定医、医学博士（腎癌の研究）を取得しております。専門は泌尿器科疾患全般および泌尿器科悪性腫瘍の診断と治療です。

地域の皆様の役に立てますよう微力ながら力を尽くして行く所存です。宜しくお願ひ申し上げます。



外科医師

いわさき たいぞう
岩崎 泰三

この7月より、西埼玉中央病院外科に配属になりました岩崎泰三と申します。

私は平成17年に東京慈恵会医科大学を卒業し、附属第三病院での2年間の初期研修後、附属青戸病院での1年間の後期研修を経て、今回こちらで働かせていただく事となりました。

外科を専門として1年が経ちましたが、外科医はもとより、医師としてもまだまだ経験が浅く未熟です。故にご迷惑をかけてしまうことも多々あると思いますが、西埼玉中央病院にかかれる患者さんの手助けになれるよう、精一杯がんばりたいと思いますので、外科スタッフのみならず、皆さまからのご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひ致します。

中国四川大地震を体験して

非常勤歯科医師 田中健一



「蜀道難、難干上青天」（蜀の道は悪路で天に昇るより難しい）は中国人なら誰でも知っている杜甫が作った有名な詩です。今回の四川地震が襲ったのは、まさにそんな悪路続きの場所でした。歴史をひも解けば、四川省は三国志で有名な劉備や諸葛孔明の活躍した国（蜀）で、蜀の都であった場所が成都です。

一時、日本のマスコミ報道は四川大地震一色であった時期がありましたが、そのニュースは岩手・宮城地震があったこともあり、現在は大きく減少しています。

オリンピックを目前に控え、色々と話題になっている中国ですが、今回の地震は中国社会に大きなインパクトを与えました。

私は地震が発生し救助が本格化している時に北京にいました。この大地震は死者・被災面積などの面において世界的規模であり、テレビは現地の様子を24時間でライブ報道し、新聞も連日第一面で取り扱い、その度に死者の数も刻々と増加しました。

このような中、私がいいた診療所の中でも、若いスタッフを中心に現地で何かをしたいという声が起こりました。生存者の救出段階が過ぎたと思われた5月20～22日の間、診療所として何ができるかを自分の眼で確かめるため、2泊3日の予定（リックサッ

クに入る自身の水、食料分)で、震源地である四川省の成都に私は入りました。援助が求められている場所に仮設診療所を作る、その場所を探すことが目的でした。

実際には紆余曲折はありましたが、震源地に近いこと、メディアへの露出が低いこと、アクセスの確保ができていることを基準に彭州市を選びました。

彭州市は成都から40km、峠を超えれば震源地である文川です。

今回はマスコミが報じていない現地のありのままの姿を見て私を感じたことを箇条書きにて報告します。

1. 彭州市においては、平野部と山間部では被害状況が全く異なること。

山間部では住居の倒壊率は90%以上で、膨大な数の人民解放軍が入り、水や食料、生活物資を配付していました。当面の物資は足りていると私は判断しました。

2. メディアは刺激的な映像を求め過ぎて、被災民に対するプライバシーが確保されておらず、至る所でシャッターが切られていました。

3. 多くの中国人ボランティアが現地に入り支援活動に従事していること。

山の中で医療機関がない村に突如として上海や重慶から来た医療スタッフが仮設診療所を開設し、医療を提供していました。自分の仕事を休んで駆け付けても、許容する寛容さが会社や社会にあるのです。

4. 震災を支援することが愛国運動になっていること。

成都の広場では大学生が「中国人万歳、四川人万歳、中国加油」と言いながら国旗を振っている光景を目にしました。惻隱の情と言いますが、日本人の被災時の行動様式とは異なっています。

5. とにかく感謝されること。

私は仮設診療所を作るために行ったのであって、今回は医療に従事したわけではありません。しかし、行く先々で「こんな危険な中、よく来てくれた」と言われました。私が夕食をした食堂でもお金はいらない、ホテルでもお金はいらない、と言われました。さらに帰国後に立ち寄った文京区巣鴨の中華料理屋でも(名前は天盛、美味しいことで有名)、中国人として感謝する、食事代は結構だと言われたのです。

日本人に薄れてきた助け合いの精神、同じ民族への共感を感じるとともに、こんなこと日本にあるだ



成都空港(四川省)に到着した天津のボランティア医療チーム

ろうか?と思いました。これがどこの国でも根が張れる中華民族の懐の深さなんだと感じました。

私は中国の医療資格があったこともあり、日本人として現地に入りメディアが報じない現状を見てきました。私が滞在で得た結論は、医療面の支援は十分なされており、今後は長い目で見た復興支援が必要と考えます。ともすれば陶醉し忘れがちになりがちな現地のことを、何らかの形でサポートしようと考えています。

フランスの哲学者「ポールリクール」は「人の苦しみはそれを見たものに義務を負わせる」と言いました。多くの被災民は農民であることもあり、これから求められる支援は、農業と教育分野だと私は結論しました。

岩手・宮城地震、洞爺湖サミットなど日々のニュースは移り変わり、四川地震の記事を見ることは少なくなりました。今だからこそ、日中の間を往復している希有な人間として、自分としてできること、つまり教育及び農業支援をはじめていこうと考えています。

私の考えにご賛同いただける方は下記連絡先へご一報いただければ幸いです。

◆田中健一

JICA(国際協力機構)ブラジル公衆衛生プロジェクトに派遣の他、アフリカ諸国にて医療協力に参加後、在留邦人が海外で遭遇する医療面のケアをしている海外邦人医療基金からマレーシア、タイ、フィリピンで発達障害児や家族を対象とした健康相談、診断にも参加。

現在、西埼玉中央病院非常勤歯科医師、北京天衛診療所医療顧問。

連絡先 tanaka2783@excite.co.jp

医療連携登録施設だより

医療法人徳明会 小室内科消化器科クリニック 院長 小室 理



院長 小室 理



理事長 小室 舜一

当院は大正2年に曾祖父・小室太一が毛呂山町川角から飯能に移住し開院し、かかりつけ医として地域医療に取り組んでおります。平成19年1月より医療法人徳明会小室病院から『小室内科消化器科クリニック』となり、父 舜一（理事長）の後を継いで 理（おさむ）が院長となりました。当院の特徴として在宅療養支援診療所として在宅療養中の患者さんに対して積極的に訪問診療を行っています。患者さんの内訳としては脳卒中後遺症、認知症、神経難病、在宅酸素療法中の慢性呼吸不全、胃瘻管理や末期癌におけるターミナルケアなど多様です。患者さんについては、近隣の大学病院などから紹介いただく患者さんが多く在宅移行時に必要な情報交換を連携医療機関と迅速に行い、在宅環境の整備や必要な介護サービス（訪問看護・ヘルパー派遣・訪問入浴サービスなど）の提供方法について、ご家族やケアマネジャー（介護支援相談員）と相談しています。とくに、末期癌におけるターミナルケアについてはご本人やご家族の意思が反映できるようにケアカンファレンスを行うことによりサービス担当者間での意思疎通を蜜にして緩和治療を中心とした在宅ケアを行っています。

また、外来診療についてはプライマリケア（初期診療・治療）のみならず、私の専門領域である消化器・肝臓疾患の患者さんについても積極的に診療を行っています。特に、C型慢性肝炎については西埼玉中央病院 消化器内科の先生と病診連携を介してインターフェロン療法の導入をお願いしています。病状安定後には当院でのインターフェロン療法の継続治療を行っています。

さらに、私自身も西玉中央病院にて毎週水曜日 午前肝臓専門外来と午後には検査・肝がん治療を行っています。

西埼玉中央病院の先生方には、これまでも内科疾患のみならず外科、泌尿器科、整形外科など多科にわたり紹介患者さんをお願いしていますが親切な対応をして頂き大変感謝しております。

今後も西埼玉中央病院との病診連携を介して患者さん

が安心できる医療を心がける所存ですので何卒よろしくお願ひします。

なお、当院 ホームページを公開していますので興味のある方はアクセスしてください。

URL <http://www.komuro-med.or>

医療法人徳明会 小室内科消化器科クリニック

〒357-0033 埼玉県飯能市八幡町2-3

TEL. 042-972-3061

【診療科目】

■内科・消化器科・アレルギー科・循環器科・外科
消化器病学会認定専門医、肝臓病学会認定専門医による診療、東洋医学会認定漢方専門医による診療も行っています。

【外来診療時間】

月～金曜日：午前9時から午後1時まで

（受付は午後0時30分まで）

午後4時から午後7時まで

（受付は午後6時30分まで）

土曜日：午前9時から午後1時まで

（受付は午後0時30分まで）

午後は休診

【休診日】 第二土曜日、日曜日・祝日

※下記施設の協力病院となっています。

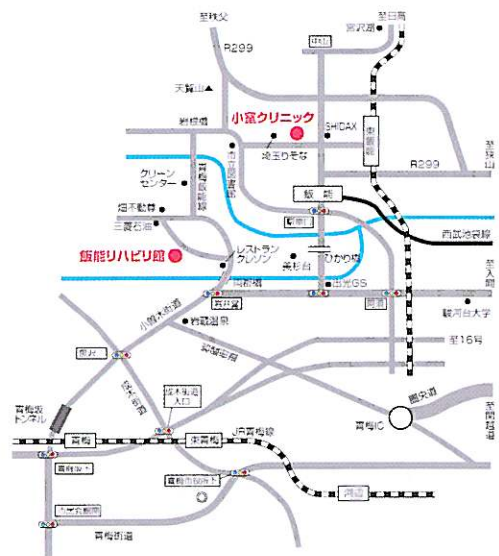
医療法人徳明会 介護老人保健施設 飯能リハビリ館

〒357-0052 埼玉県飯能市下畑296

042-974-6000

往診時間 月・火・木・金 午後1時～午後3時まで

（必要に応じ随時）



糖尿病患者さんへの、新しい教育入院について

～糖尿病と診断された患者さんへ～ 内科医長 川口美佐男



糖尿病合併症を防ぐには、より厳格な血糖コントロールが必要とされています(下記表をご覧ください)。

当科では、糖尿病教育入院を積極的に行い、2週間の教育入院と1ヶ月前後の糖尿病治療入院の二段構えで臨んでおりました。しかし、「仕事の都合などのため、長期欠勤ができない」「食事治療だけなら受けてみたい」「もう少し精密な検査を行いたい」など、糖尿病患者さんの希望を叶えるべく、短期教育入院の予定を立てました。

入院期間は、3泊4日。金曜入院～月曜退院のコースです。まず、入院前に一度栄養指導を受け(また心電図・胸部X線検査などを行っていただき、危険な心疾患の有無を調べてから)、予定日より入院します。退院までの4日間、食事療法の実践をおこない、退院後に再度食事指導を受けていただき、頭・体・頭で食事療法を学ぶようにする教育方式としました。検査結果については、退院前に担当主治医より説明致します。

なお、従来の2週間教育入院も継続しておりますので、こちらへの患者さん入院も随時行っております。

糖尿病コントロール目標 (日本糖尿病学会2004年版)

評価	優	良	(可)		不可
			不十分	不良	
HbA1c値	5.8未満	5.8～6.4	6.5～6.9	7.0～7.9	8.0以上
空腹時血糖値	110未満	110～129	130～159		160以上
食後2時間血糖値	140未満	140～179	180～219		220以上

病院のどうぶつ

算定病歴係長 富永 泰平

病院の周辺には雑木林が広がり、近隣一帯でも特に緑が豊富な区域であるため、たまに珍しい動物が現れることがあります。ここでは、病院の中で発見した動物を紹介していきます。

No.1 【オオタカ】

学名: Accipiter gentilis

和名: オオタカ

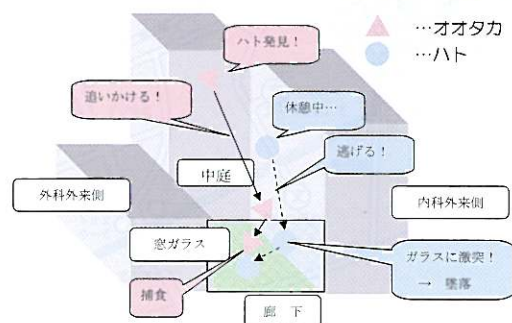
英名: Goshawk

分布: 北アフリカからユーラシア大陸、北アメリカ大陸にかけて分布する。国内では、南西・南方諸島を除く全域に広く分布する。

IUCNレッドリスト: 軽度懸念 (LC)

環境省レッドリスト: 準絶滅危惧種 (NT)

右の写真は、外来棟の中庭に姿を見せたオオタカです。足には獲物であるハトをしっかり掴んでいますが、このオオタカはこの場所で独特の方法で狩りをしていました。(下図)



《鷹狩り》

日本では古来より、オオタカを使用した『鷹狩り』を行っていました。しかし現在では、環境省レッドリストで“準絶滅危惧種”に指定されているため、国内での捕獲・飼育が禁じられています。そのため、現在では、国外からオオタカを輸入して伝統的な『鷹狩り』の技術を継承しています。

ボランティアの皆さまへの表彰式挙行!!

当院では、平成12年からボランティアの皆さまにより院内での活躍をいただいているところです。今般、その永年に渡っての活動への感謝として、去る6月23日、院長より5部門45名について感謝状と記念品の贈呈式がそれぞれの代表の方を招いて執り行われました。



その活動内容としては、患者案内、池の掃除、庭木の手入れ、写真展示等であり、患者さまの心のやすらぎのために貢献いただいております。

ボランティアに興味のある方は、下記「ボランティア募集」をご覧ください。

(庶務班長)

インフォメーション

INFORMATION

■ボランティア募集

外来患者様のご案内などのボランティアを募集しております。
詳しくは管理課庶務班長又は副看護部長までお問い合わせください。

TEL04-2948-1111 内線 211(庶務班長)、204(副看護部長)



ご案内

- 診療受付時間 8:30~11:00
- 休診日 土・日・祝日及び年末年始
- 当院の救急輪番日

内科・外科系	毎週月・木曜日
小児科	毎週木曜日
- 当院への交通
西武池袋線
 - (1) 小手指駅南口: 狭山ヶ丘駅行または箱根ヶ崎駅行バス7分(西埼玉中央病院下車)
 - (2) 狭山ヶ丘駅西口: 小手指駅南口行バス7分(同上)
 ・いずれもタクシーの便あり・池袋から、急行35分